

平泉文化セミナー第 85 回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今般、平泉文化セミナー第 85 回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

演 題

平泉出土の宋代絞胎陶器

国際日本文化研究センター客員准教授 山口 博之 氏

要 旨：

絞胎陶器とは二種以上の色味の違う陶土を用いた陶器である。中国からの絞胎陶器移入は、奈良時代～平安時代初の唐三彩が最初であった。平安時代後半から末には宋代絞胎陶器が移入され、平泉へともたらされた。絞胎陶器は博多遺跡群、平安京、鎌倉そして平泉で出土しているが、いままでほとんど紹介されたことがない。発表では平泉の出土資料を把握し、国内外の資料と比較しながら整理してみたい。

令和 7 年 12 月 13 日（土）13：30～15：00

岩手大学教育学部 1 号館 2 階 E21 講義室

※会場参加のかたは、事前の申し込みは不要です。

※Zoom 参加を希望されるかたは、12 月 9 日（火）までに下記連絡先までメールにてお申し込みください。

- ・会場参加者はマスクをご着用されることをお勧めします。
- ・体温が 37.5 度以上の場合は入場をお断りする場合があります。

【連絡先】 岩手大学平泉文化研究センター事務局
〒020-8550
盛岡市上田三丁目 18-33

Fax 019-621-6529
E-mail chs@iwate-u.ac.jp